



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	283,978	34.7	9,133	14.8	9,622	13.9	5,249	17.6
28年3月期第3四半期	210,891	13.0	7,955	△5.0	8,449	△5.5	4,462	△1.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,940百万円( 33.1%) 28年3月期第3四半期 4,464百万円( △9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	103.99	—
28年3月期第3四半期	90.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	242,658	89,790	36.1
28年3月期	218,456	81,522	37.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 87,485百万円 28年3月期 80,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	56.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	418,000	36.2	15,800	12.5	16,100	9.2	9,400	6.2	186.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	50,834,700株	28年3月期	49,640,700株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	235,568株	28年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	50,479,732株	28年3月期3Q	49,405,169株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得の環境改善を背景に全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、アジア新興国経済の減速、米国大統領交代、英国のEU離脱問題等、海外経済の不確実性が高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬、薬価改定が実施され、医療機能の分化・連携をより強固に進める方針が明確となり、在宅医療やかかりつけ医、訪問介護、外来の機能分化など、業界全体が変革を求められ、収斂も進みつつあります。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、診療報酬、薬価及び償還価格改定の影響を受けましたが、プロジェクト案件、介護系施設の業績改善が計画通り進捗したこと、介護系メーカーにおける経営改革の効果が上がったこと、小西共和ホールディング株式会社との経営統合による業績寄与があったこと等により増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は283,978百万円（前年同四半期連結累計期間比34.7%増）、営業利益は9,133百万円（前年同四半期連結累計期間比14.8%増）、経常利益は9,622百万円（前年同四半期連結累計期間比13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,249百万円（前年同四半期連結累計期間比17.6%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

#### ① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が計画通り進捗するとともに、介護系メーカーの業績が改善いたしました。一方で、手術室や無影灯のメーカーにおきましては、競合会社との競争により厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は55,364百万円（前年同四半期連結累計期間比12.5%減）、セグメント利益（営業利益）は5,175百万円（前年同四半期連結累計期間比6.3%増）となりました。

#### ② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、小西共和ホールディング株式会社との経営統合により増収増益となりましたが、新規大型SPD施設の受託による一時的な費用の増加、償還価格改定による競争の激化等により、利益率は低位に推移いたしました。

この結果、売上高は191,695百万円（前年同四半期連結累計期間比69.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,790百万円（前年同四半期連結累計期間比17.4%増）となりました。

#### ③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率の改善、全国施設の一体型経営進捗による業務改善、不採算サービス拠点の閉鎖等を実施したことにより大幅に収益が改善いたしました。

この結果、売上高は15,829百万円（前年同四半期連結累計期間比5.5%増）、セグメント利益（営業利益）は480百万円（前年同四半期連結累計期間比201.5%増）となりました。

#### ④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響があったものの、既存店効率化やかかりつけ薬局認定の進捗等も奏功し、順調に推移致しました。

この結果、売上高は18,071百万円（前年同四半期連結累計期間比0.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,716百万円（前年同四半期連結累計期間比0.4%増）となりました。

#### ⑤ その他

その他におきましては、警備系会社のM&Aや、動物病院事業が当初計画通り進捗したことから増収増益となりました。

この結果、売上高は3,017百万円（前年同四半期連結累計期間比121.2%増）、セグメント利益（営業利益）は115百万円（前年同四半期連結累計期間比65.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は242,658百万円となり、前連結会計年度末と比べて24,202百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3,504百万円減少した一方、現金及び預金が8,270百万円、商品及び製品が6,707百万円、土地が2,738百万円、建物及び構築物が2,652百万円、賃貸不動産が1,886百万円増加したこと等によるものであります。

負債は152,868百万円となり、前連結会計年度末と比べて15,934百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が2,366百万円減少した一方、短期借入金9,346百万円、電子記録債務が7,390百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は89,790百万円となり、前連結会計年度末と比べて8,267百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が5,249百万円、資本剰余金が3,360百万円、非支配株主持分が1,776百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.1%（前連結会計年度末比1.0ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

#### (追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,255	44,525
受取手形及び売掛金	78,302	74,798
電子記録債権	1,862	2,042
リース投資資産	4,172	4,105
商品及び製品	8,074	14,782
仕掛品	1,763	1,743
原材料及び貯蔵品	982	1,145
その他	8,809	8,879
貸倒引当金	△84	△85
流動資産合計	140,137	151,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,888	15,541
土地	12,401	15,139
建設仮勘定	2,593	4,271
賃貸不動産(純額)	12,410	14,297
その他(純額)	3,429	3,623
有形固定資産合計	43,723	52,874
無形固定資産		
のれん	11,323	11,675
その他	979	1,324
無形固定資産合計	12,302	12,999
投資その他の資産		
長期貸付金	10,098	10,284
その他	14,576	16,878
貸倒引当金	△2,430	△2,340
投資その他の資産合計	22,244	24,822
固定資産合計	78,270	90,696
繰延資産		
株式交付費	48	24
繰延資産合計	48	24
資産合計	218,456	242,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,074	71,007
電子記録債務	10,058	17,448
短期借入金	1,615	10,962
未払法人税等	3,255	888
賞与引当金	1,532	795
その他	11,569	15,873
流動負債合計	99,105	116,976
固定負債		
社債	2,050	—
長期借入金	29,168	28,102
退職給付に係る負債	2,080	2,533
資産除去債務	326	359
その他	4,201	4,896
固定負債合計	37,827	35,891
負債合計	136,933	152,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,356	23,716
利益剰余金	44,366	46,898
自己株式	△448	△448
株主資本合計	79,828	85,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	1,682
為替換算調整勘定	136	132
退職給付に係る調整累計額	△52	△49
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,765
非支配株主持分	528	2,304
純資産合計	81,522	89,790
負債純資産合計	218,456	242,658

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	210,891	283,978
売上原価	186,239	253,576
売上総利益	24,651	30,402
販売費及び一般管理費	16,696	21,268
営業利益	7,955	9,133
営業外収益		
受取利息	233	247
受取配当金	63	105
負ののれん償却額	180	180
持分法による投資利益	11	—
貸倒引当金戻入額	49	85
その他	305	331
営業外収益合計	844	948
営業外費用		
支払利息	213	222
持分法による投資損失	—	11
為替差損	0	44
その他	136	181
営業外費用合計	351	459
経常利益	8,449	9,622
特別利益		
固定資産売却益	56	8
投資有価証券売却益	0	88
長期未払金取崩益	—	20
その他	4	0
特別利益合計	61	116
特別損失		
固定資産売却損	3	105
固定資産除却損	21	79
投資有価証券評価損	358	37
厚生年金基金脱退損失	—	208
のれん償却額	—	71
その他	62	8
特別損失合計	445	510
税金等調整前四半期純利益	8,064	9,228
法人税、住民税及び事業税	3,046	3,267
法人税等調整額	474	620
法人税等合計	3,520	3,888
四半期純利益	4,543	5,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,462	5,249



四半期連結包括利益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,543	5,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	599
為替換算調整勘定	△29	△2
退職給付に係る調整額	△14	3
その他の包括利益合計	△79	600
四半期包括利益	4,464	5,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,382	5,848
非支配株主に係る四半期包括利益	81	92

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,297	113,227	15,009	17,992	209,526	1,364	210,891	—	210,891
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	934	660	42	82	1,719	21	1,741	△1,741	—
計	64,231	113,888	15,051	18,074	211,246	1,385	212,632	△1,741	210,891
セグメント利益	4,867	1,524	159	1,709	8,260	69	8,330	△374	7,955

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△374百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△403百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、(株)西野医科器械株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,495百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	55,364	191,695	15,829	18,071	280,960	3,017	283,978	—	283,978
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,360	1,283	20	1,379	5,043	29	5,072	△5,072	—
計	57,724	192,978	15,850	19,450	286,004	3,047	289,051	△5,072	283,978
セグメント利益	5,175	1,790	480	1,716	9,163	115	9,278	△145	9,133

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引取消△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。